



# かがやき

山形市立第一小学校  
学校だより 第7号  
R2.10.15発行  
校長：田所 昭裕  
児童数 227名  
(10月1日現在)

## 「みんなが主役！」一小的本気を見せた運動会

10月3日(土)、本校創立131周年記念紅白対抗大運動会が開催されました。

コロナ禍で様々な行事が中止を余儀なくされる中、何としてでも実施したいと子供たちが一番に挙げていたのが運動会でした。

9月25日(金)の結団式で実行委員会から出された「みんなが主役 一小的本気」のスローガンを達成するために、次の3つを大事にしようと伝えました。



- ①健康：感染予防に努め、しっかり健康管理を行い元気に参加すること
- ②仲間：今年度はすべて団体種目。自分がかんばるのはもちろん、仲間を信じ仲間と力を合わせてベストを尽くすこと
- ③時間：準備期間は一週間。丁寧に活動計画を立てて時間を有効に使うこと

それから一週間、低中高それぞれのペア学年でリーダーを中心に作戦を立てながら、練習に取り組み、仲間を励まし、ふり返りをする姿が見られました。さらに、上学年の子供たちは学習の一環として係活動に取り組み、仲間と知恵を出し合いながら、全力で大会の運営に努めました。

子供たちの思いがぎっしり詰まった今年度の運動会は、最後まで手に汗を握る大接戦となりました。結果は、優勝赤組、準優勝・応援賞白組でした。結果発表の瞬間、飛び上がって喜び子供と悔し涙が止まらない子供、勝ち負けは付きましたが本気で取り組んだことの価値は変わりません。最後は、会場のみんなで互いの健闘と感謝の気持ちを込めた大きな拍手で大会を閉じました。

今年度は、感染予防の観点からご家族のみの応援とさせていただきました。制約が多く恐縮でしたが、団体種目による午前の開催など、今後も新たな運動会のスタイルを模索して参ります。ぜひ、参観されての感想をお聞かせください。体育振興会、寿会の皆様をはじめ、保護者、地域の皆様方のご理解、ご協力ありがとうございました。

おかげさまで、子供たちの心の中に大切な思い出の1ページが加えられました。



創立131周年記念  
吉田同窓会長さんと松田奨学会長さんに  
エールを送っていただきました。



係の子供たちが考えた全校種目  
最後まで一進一退の大接戦、  
みんな夢中になって大玉を送りました。



競技の最後は全員リレー  
さすがは高学年 見事なバトンパスに  
迫力満点の力強い走りでした。

※当日の様子は山一小HPで詳しくお伝えしております。ぜひご覧ください。

# リーダーシップとフォロワーシップ

10月6日（火）の全校朝会では、運動会の写真を見ながら、実行委員長と赤白組頭の3人に代表して前

に出てもらい、一緒に取り組みをふり返りました。「自分の思いが伝わっているのか、とても不安だった。」ことや、「仲間が大丈夫だよと背中を押してくれて、自信になった。」ことなどが、各自の言葉で語られました。

一歩前に出た仲間のがんばりを共感的に受け止めてしっかりとそこに応える、そんな子供同士のリーダーシップとフォロワーシップの大切さを、改めて実感する機会となりました。

毎日の学校生活の中でも、意識して活かしていきたい視点ですね。



## 「思い」を伝え合う子供たち

閉会式が終わった応援団の陣地では、それぞれ解散式が行われました。6年生から後輩へ思いが託されると、今度は5年生の子供たちから感謝状が渡されました。そこには6年生への感謝の気持ちと次年度への決意が記されていました。

後日行われた係毎のふり返りの会では、今度は6年生から4・5年生へと後輩のがんばりを讃えるメッセージカードが贈られました。

また、各学年のふり返りの中でも、仲間のがんばりに目を向け、メッセージカードを交換する場面が数多く見られました。

子供自身ではなかなか自分を客観視することができないので、自分でがんばったと思うところを価値づけてもらおうと自信につながりますし、無意識のうちにがんばっていたことを価値づけてもらおうと自己肯定感にもつながります。感謝状やメッセージカードを介して、子供たちの笑顔がどんどん広がっていくのがわかりました。

「思い」を伝え合うことで、子供同士の関係がさらに豊かに広がっていくことを楽しみにしています。



6年生は下級生のおこがれです  
(運動会の解散式後に)



先輩からのメッセージは  
大きな励みになります(係毎の反省会)



互いのかんばりを認め合うと  
温かい気持ちになりますね

### 今週末は奨学会主催の「親子ウォークラリー」

参加者が親子合わせて300名を超えました。当日は、街なか賑わいフェスタも開催され、まなび館前にキッチンカーが登場するほか、県民ふれあい広場では市の農畜産物フェスティバルも行われます。

「密を避けて街に出よう!」を合い言葉に、存分に地域の魅力に触れたいですね。楽しい週末になりそうです。

奨学会の皆様、準備等、本当にありがとうございます。

